



な が れ

学校評価アンケートの結果を受けて

副校長

7月には、学校評価アンケートにご協力をありがとうございました。その中の項目「家庭で携帯電話やインターネットに関わる適切な利用などについてルールを決め、我が子に伝えている。」では、肯定的な回答が9割を占めたものの、その内訳は「まあ思う」が5割で、「そう思う」は4割に届きませんでした。子供がSNSのやり取りから事件に巻き込まれるケースが、近年は小学生で増加しているそうです。9月には「SNS学校ルール」を配布し、「SNS家庭ルール」を必要に応じて見直していただくようお願いしましたが、冬休み前にご家庭でもしっかりとルールをご確認ください。SNS被害を防ぐポイントは、「家庭でスマホを使う場所や時間などをルール化する」「名前や顔写真、学校名などは載せない」「トラブルが起きたらすぐに相談する親子関係をつくる」ことです。(千葉大学藤川大祐教授による)



今年度、「学校は、日頃の教育活動の様子などについて、保護者会や学校だよりなどで分かりやすく伝えている。」という項目を新たに設けました。7月のアンケートでは、9割の方から肯定的な評価をいただいたものの、「そう思う」と「まあ思う」が半々という結果でした。より多くの方に「そう思う」と回答いただけるように、本校のホームページの情報量を増やし、見やすく整えました。トップページには、「戸三日記」を表示しています。更新は不定期になりますが、子供たちの学校での様子をお伝えすることを第一に考えました。画像は、個人が特定されないように配慮しています。子供たちから、「ホームページ見ました。」「あの時の写真ですね。」と、話しかけられることもあります。また、「学校給食」のページは、ブックメニューの関連図書を紹介するなど充実しています。ご家族でご覧になって話題にいただければ幸いです。

12月には、後期の学校評価アンケートを行います。結果に基づき、改善に取り組んでまいります。ご協力をよろしくお願いいたします。

11月19日より、大学生のK、Mさんが、週2日程度、区の教育ボランティアとして活動しています。よろしくお願いいたします。

12月の主な行事予定

1	日	
2	月	委員会活動
3	火	業間体育 放課後学習教室
4	水	B時程5時間授業 一斉下校14時
5	木	小学校音楽の集い5・6年
6	金	なわ跳び旬間終
7	土	
8	日	
9	月	A時程6時間授業 歯磨き週間始
10	火	安全指導 放課後学習教室
11	水	B時程6時間授業
12	木	
13	金	歯磨き週間終 まなびの教室終
14	土	
15	日	
16	月	クラブ活動
17	火	避難訓練 放課後学習教室
18	水	B時程6時間授業
19	木	
20	金	B時程6時間授業 まなびの教室個人面談
21	土	
22	日	もちつき大会
23	月	クラブ活動 避難訓練予備日 もの作り体験出前授業6年
24	火	給食終
25	水	終業式 B時程4時間授業
26	木	冬季休業日始

令和2年1月

7	火	冬季休業日終
8	水	始業式 安全指導 B時程4時間授業 一斉下校12時25分
9	木	登校指導 給食始 書き初め会 計測1・2年
10	金	新宿区学力定着度調査(2～6年)

※予定は変更になることもあります。

校内研究について

研究主任

【研究主題】

「主体的・対話的で深い学びのできる児童の育成」
～聞く姿勢を大切にしたい伝え合う活動を通して～

本年度は、学び合う姿勢を大切にできる児童を目指して、国語科の学習を中心に校内研究を進めてきました。特に、学び合いをするためには、まず相手の意見を聞き、自分の考えを伝えること、自分の考えを分かりやすく表現することが大切になります。

研究授業では、1年生は好きなことについてのスピーチを、2年生は、「お手紙」の発表会へ向けての音読を、3年生は、学年発表をするための話し合い活動をしました。4年生は、話し合いの仕方を自分たちで考え、クラスを楽しいクラスにするための話し合いをしました。5年生は伝記の登場人物の生き方を話し合う活動にチャレンジしました。6年生は、説明文で筆者の主張と事例の関係を説明する授業をしました。

どの学年も自分の意見を伝えるだけでなく、友達から学んだり、話し合ったことを生かしたりして、自分の考えを深めることができました。

つ・な・が・り

スクールコーディネーター

10月21日、5年生が茶道会館で伝統文化体験をしてきました。茶道会館の北見宗幸先生は戸三小の卒業生です。地域にあるということで、体験を受け入れてくださり、地域のつながりのありがたさを感じます。道路から敷地に入る門をくぐると木々が茂り、石の通路を進むと庭園が広がり、お茶室が静かなたたずまいで待っています。つくばいで手や口を清め、お扇子を持ち、にじり口を通り、大広間に入ります。周囲を見れば、畳、木の柱、紙の襖や障子、床の間、掛け軸、どれも私には懐かしく、時のつながりを感じます。5年生の目にはどのように映ったのでしょうか。体験では全員が2グループに分かれ、茶を点ててもてなす側と、お菓子とお茶をいただくお客様の体験をしました。指導は着物姿の北見宗雅先生はじめお茶の先生方です。お点前の手本は袴姿の先生です。お茶からお菓子や着物、お茶を点てる道具までつながっていきます。

11月末には、2年生が生活科の学習で「町たんけん」に出かけました。1学期は下落合図書館、東京富士大学に全員で訪問しました。今回はグループに分かれ、5つのお店で話を伺ったり、実際に近くで仕事を見せていただいたりしました。スクールコーディネーターは、児童が興味をもっているお店や保護者の方のお店に事前にお願ひに伺います。初めてのお店でも皆さん、「子供は未来ですから。」と気持ちよく対応してくださり、改めて地域の力に感謝しているところです。

サツマイモクッキング

2年担任

2年生では、生活科の「おおきなあれ わたしの野菜」の学習で、1学期から野菜を育てる活動に取り組んできました。校庭の脇にある学年の畑でも、トマトやキュウリやピーマンを、夏の暑い時期に収穫することができました。そして11月には、サツマイモを収穫することができました。2年生の子供たち全員が交代で一生懸命に掘り出したサツマイモは、両手を広げた大きさよりも大きく、ずっしり重たいサツマイモでした。



収穫の翌週には、サツマイモクッキングに取り組みました。まずは、大きなサツマイモをじっくりふかして、あつあつのサツマイモの皮むきをしました。「わっ！すっとむける！」とつぶやきながら真剣に取り組んでいました。そして、皮をむいたサツマイモをチャック付きビニール袋に入れて、手でつぶしながらマッシュしました。そこに、バターやミルクで味付けをして即席スウィートポテトとしました。「お芋ってあま〜い！」と歓声を上げながらの楽しい試食タイムとなりました。

タエ子と算数

算数少人数担当

映画「おもひでぼろぼろ」を見たことはありますか。主人公のタエ子が、姉のヤエ子に分数のわり算の仕方を聞くシーンがあります。

ヤエ子「そんなもの分母と分子を入れ替えてかけときゃいいのよ。」

タエ子「どうして分母と分子を入れ替えるの？ どうしてわり算なのに、かけるの？」

皆さんだったら、どう答えますか？

算数の指導では、「タエ子の疑問をすっきり解決できるような授業」を目指しています。計算ができただけでは、その仕組みを理解できているとは言いきれません。計算が速くて正確な子が、その根拠を説明できず、ヤエ子と同じ説明になってしまう場合もあります。一方、計算に時間のかかる子でも、筋道立てて説明できる場合もあります。その子だったら、タエ子を納得させてしまうかもしれません。

「計算の技能だけでなく、根拠を大切にしたい。考えもしなかったことを考えさせ、子供たちを満足させたい。」というのが算数指導への思いです。算数には、タエ子が疑問にもちそうな内容が、ほかにもいくつか出てきます。映画では「分数のわり算」ですが、ほかの学習でも同じような疑問を蓄積させていたらどうでしょう。子供たちが真の理解ができるように、根拠を問うことを大切にしたい指導を継続していきます。